

7/22～7/24 実施の小国地区での民家除染実証試験

- 特定避難勧奨地点の設定された下小国地区の民家3軒
- 対象家屋は、屋根の種類や庭、玄関先の違いと集中作業に考慮した地理的条件等から、区民会長と行政区長と協議決定
- 作業は市の除染対策アドバイザーの田中俊一氏の指導により、除染の専門業者である(株)アトックスを中心に、市建設業協会等の協力の下、原子力研究開発機構(JAEA)、全国からのボランティアにより実施

7/22 約40名 7/23 約50名 7/24 約50名 延べ140名

- 試験結果概要は下記のとおりで、詳細な結果についてJAEAで取りまとめ作成中

	玄関前周辺		自宅裏周辺	
	除染前	除染後	除染前	除染後
Aさん宅	1.0～2.0 $\mu\text{Sv/h}$	0.8 $\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$
Bさん宅	～2.0 $\mu\text{Sv/h}$	1.0 $\mu\text{Sv/h}$	$\mu\text{Sv/h}$	2.0 $\mu\text{Sv/h}$
Cさん宅	3.7 $\mu\text{Sv/h}$	0.8～1.2 $\mu\text{Sv/h}$	3.0 $\mu\text{Sv/h}$	1.5 $\mu\text{Sv/h}$

※雨樋の雨水が庭先の土に直接浸透している局所では30 $\mu\text{Sv/h}$ を超える所もあり、表土のみではなく40～50cm程度の深さで土の入れ替えを行う

※玄関前のアスファルトではブラスト作業で線量が1/20に激減した所もある

※庭木等も高線量が計測され、生垣の刈り込み作業により軽減を図った

※屋洗浄では、雨樋の土等に水分を含ませ除去後、屋根の高圧洗浄を実施



アスファルトのブラスト作業



ボランティアによる除草



表土除去は計測を繰り返し除去量を決定



雨樋の計測状況



屋根洗浄前に雨樋の汚泥除去



線量の高い雨水浸透箇所の除染